



SHIMOHAJI

CAMP & CAFE

しもはじ埴輪キャンプ場 & 納屋カフェ ・ 通信
2026年2月号

<No.13>

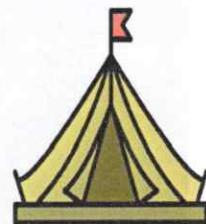
〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町下土師1821

キャンプ場：070-3997-3865

納屋カフェ：090-5758-8160



冬キャンプが楽しい！ というキャンパーの生態?!



しもはじ埴輪キャンプ場で「冬キャンプ」を楽しむ方がいます。中には「キャンプは秋から春にしかやらない。冬キャンプが一番!」という方もいらっしゃいます。

「冬キャンプ好き!」というキャンパーさんに聞いてみると、その理由は、

- ① 冬キャンプをする人は少ないので、静かなキャンプが楽しめる。
- ② 蚊をはじめとする虫がいないので、虫対策がいらない。
- ③ 冬の夜空は澄んでいて星がとてもきれいに見える。
- ④ 焚き火や薪ストーブの暖かさをしっかり味わうことができる。

といったものがあげられます。

一方、「冬キャンプ」をしないキャンパーさんの理由は、なんと言っても「寒いから」。もっともな理由です。しもはじ埴輪キャンプ場でも、冬の寒い朝は-5℃にもそれ以下にもなります。テントはバリバリに凍ります。でも、そんなことは承知で「冬キャンプ好き」の方々はキャンプを楽しんでいるのですね。



常連Tさんのソロキャンプ（1月）。
大型テントに薪ストーブ。快適なテント空間でのんびり過ごす。

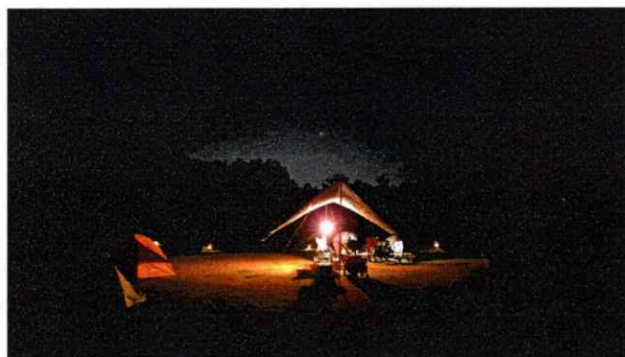
そんな“寒さ”を「冬キャンプ好き」の皆さんはどうやって受け入れ、楽しんでいるのでしょうか。

やっぱり「冬キャンプ」で暖をとるための強い味方は「ストーブ」です。薪ストーブを使う方が多いですが、扱いが簡単な石油ストーブを使う方も少なくありません。テント内での燃焼ですので、一酸化炭素中毒予防に必ず「チェッカー」を使っている方が多いです。

また、ポータブル電源を利用してホットカーペットや電気毛布を使う方もいます。ほかに、湯たんぽを使うなどの防寒対策もあります。

もちろん、それ以前に必要なのは防寒衣類。ダウンやフリースなどをうまく組み合わせて寒さ対策をします。

また、欠かせないのが寝具の充実。冬用のシュラフを利用するのが一番ですが、シュラフ内にインナーを加えたり毛布を足したり、あるいはダブルシュラフという手もあります。さらにダウンパンツやダウンソックスを履くことで快適な睡眠をとることもできます。



ちなみに、しもはじ埴輪キャンプ場の「冬キャンプ」好きはソロキャンパーが主流。寒い中のキャンプだけれど、しっかり対策をして静かにじっくりと楽しみたいという皆さんです。

栗の丘で冬のグルキャン。冬はキャンパーが少ないので、ほぼ貸し切り状態。仲間うちで大きな焚き火で盛り上がることもできます。